

環境自主行動計画第5回フォローアップ(温暖化対策)データ専用回答票

2002年7月12日
(社)日本経済団体連合会
2002年10月1日
日本経団連事務局修正

貴団体名	<input type="text"/>	貴業種名	<input type="text"/>
〔ご連絡先〕 ご担当者名	<input type="text"/>	ご所属・お役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	ファクシミリ番号	<input type="text"/>
Eメールアドレス	<input type="text"/>		

【記入上の注意】

セルの背景の色は記入の必要を、セルの枠の線は情報が公開されるか否かを表しています。

- 必須提出項目となっています。必ず記入してください。
- できるだけ記入してください。
- 各団体で独自の係数・算出方法等を用いる場合にのみ記入してください。
- 経団連目標参加業種はこの情報を必ず提出してください。情報は公開いたします。
- 情報が記載されていれば公開を希望するものと判断いたします。非公開を希望する場合はその旨を明記してください。
- 情報は公開されません。

【本件ご連絡先】

(社)日本経済団体連合会 環境・技術本部
土田 03-5204-1582、吉田(孝志) 03-5204-1711、井上(晴美) 03-5204-1516
ファクシミリ 03-5255-6258 e-mail tsuchida@keidanren.or.jp (土田)

貴団体名()

1. 基礎データ

(1) 貴業種の主な製品・事業内容

[Blank area for main products/business content]

(2) 貴業種のフォローアップのカバー率(生産高、売上高、エネルギーなどわかり易い指標をご提示ください。)

[Blank area for follow-up coverage rate]

(3) 調査に参加した企業数(可能であれば、業界内の企業数もご記入願います。)

[Blank area for number of participating companies]

2. 目標(前回の目標から変更がある場合には、変更部分の特記の上、変更した理由についてもご記入下さい。)

[Blank area for goals]

3. 主な事業に伴うCO₂排出量・原単位、エネルギー使用量・原単位

(1) 燃料種別計算表

1990年度実績、1997年度実績

燃料	使用量		平均発熱量 [GJ/単位] (改訂前)[ii]	発熱量[PJ] (量×平均発熱量×10 ⁻⁶)		炭素排出係数 [万t-C/PJ] [ii]	CO ₂ 排出量[万t-CO ₂](発熱量 ×炭素排出係数×3.67)	
	1990年度実績	1997年度実績		1990年度実績	1997年度実績		1990年度実績	1997年度実績
輸入原料炭[t]			31.8	0.000	0.000	2.3650	0.00	0.00
国産一般炭[t]			24.3	0.000	0.000	2.4897	0.00	0.00
輸入一般炭[t]			26.0	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
輸入無煙炭[t]			27.2	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
コークス[t]			30.1	0.000	0.000	2.9383	0.00	0.00
原油[kl]			38.7	0.000	0.000	1.8660	0.00	0.00
ガソリン[kl]			35.2	0.000	0.000	1.8294	0.00	0.00
ナフサ[kl]			33.5	0.000	0.000	1.8167	0.00	0.00
ジェット燃料[kl]			36.4	0.000	0.000	1.8311	0.00	0.00
灯油[kl]			37.3	0.000	0.000	1.8509	0.00	0.00
軽油[kl]			38.5	0.000	0.000	1.8726	0.00	0.00
A重油[kl]			38.9	0.000	0.000	1.8898	0.00	0.00
B重油[kl]			40.2	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
C重油[kl]			41.0	0.000	0.000	1.9541	0.00	0.00
潤滑油[kl]			40.2	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
その他石油製品[t]			42.3	0.000	0.000	2.0767	0.00	0.00
製油所ガス[10 ³ Nm ³]			39.3	0.000	0.000	1.4152	0.00	0.00
オイルコークス[t]			35.6	0.000	0.000	2.5351	0.00	0.00
LPG[t]			50.2	0.000	0.000	1.6323	0.00	0.00
天然ガス[10 ³ Nm ³]			41.0	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
LNG[t]			54.4	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
都市ガス[10 ³ Nm ³]			41.9	0.000	0.000	1.3951	0.00	0.00
他の燃料種[i]								
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
合計				0.00	0.00		0.00	0.00
エネルギー使用量[原油換算万kl](発熱量×2.58)				0.00	0.00			

貴団体名()

1998年度実績、1999年度実績

燃料	使用量		平均発熱量 [GJ/単位] (改訂前)	発熱量[PJ] (量×平均発熱量×10 ⁻⁶)		炭素排出係数 [万t-C/PJ]	CO ₂ 排出量[万t-CO ₂](発熱量 ×炭素排出係数×3.67)	
	1998年度実績	1999年度実績		1998年度実績	1999年度実績		1998年度実績	1999年度実績
輸入原料炭[t]			31.8	0.000	0.000	2.3650	0.00	0.00
国産一般炭[t]			24.3	0.000	0.000	2.4897	0.00	0.00
輸入一般炭[t]			26.0	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
輸入無煙炭[t]			27.2	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
コークス[t]			30.1	0.000	0.000	2.9383	0.00	0.00
原油[kl]			38.7	0.000	0.000	1.8660	0.00	0.00
ガソリン[kl]			35.2	0.000	0.000	1.8294	0.00	0.00
ナフサ[kl]			33.5	0.000	0.000	1.8167	0.00	0.00
ジェット燃料[kl]			36.4	0.000	0.000	1.8311	0.00	0.00
灯油[kl]			37.3	0.000	0.000	1.8509	0.00	0.00
軽油[kl]			38.5	0.000	0.000	1.8726	0.00	0.00
A重油[kl]			38.9	0.000	0.000	1.8898	0.00	0.00
B重油[kl]			40.2	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
C重油[kl]			41.0	0.000	0.000	1.9541	0.00	0.00
潤滑油[kl]			40.2	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
その他石油製品[t]			42.3	0.000	0.000	2.0767	0.00	0.00
製油所ガス[10 ³ Nm ³]			39.3	0.000	0.000	1.4152	0.00	0.00
オイルコークス[t]			35.6	0.000	0.000	2.5351	0.00	0.00
LPG[t]			50.2	0.000	0.000	1.6323	0.00	0.00
天然ガス[10 ³ Nm ³]			41.0	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
LNG[t]			54.4	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
都市ガス[10 ³ Nm ³]			41.9	0.000	0.000	1.3951	0.00	0.00
他の燃料種								
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
合計				0.00	0.00		0.00	0.00
エネルギー使用量[原油換算万kl](発熱量×2.58)				0.00	0.00		0.00	0.00

貴団体名()

2000年度実績、2001年度実績

燃料	使用量		平均発熱量 [GJ/単位] (改訂後)[i]	発熱量[PJ] (量×平均発熱量×10 ⁻⁶)		炭素排出係数 [万t-C/PJ]	CO ₂ 排出量[万t-CO ₂](発熱量 ×炭素排出係数×3.67)	
	2000年度実績	2001年度実績		2000年度実績	2001年度実績		2000年度実績	2001年度実績
輸入原料炭[t]			28.9	0.000	0.000	2.3650	0.00	0.00
国産一般炭[t]			22.5	0.000	0.000	2.4897	0.00	0.00
輸入一般炭[t]			26.6	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
輸入無煙炭[t]			27.2	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
コークス[t]			30.1	0.000	0.000	2.9383	0.00	0.00
原油[kl]			38.2	0.000	0.000	1.8660	0.00	0.00
ガソリン[kl]			34.6	0.000	0.000	1.8294	0.00	0.00
ナフサ[kl]			34.1	0.000	0.000	1.8167	0.00	0.00
ジェット燃料[kl]			36.7	0.000	0.000	1.8311	0.00	0.00
灯油[kl]			36.7	0.000	0.000	1.8509	0.00	0.00
軽油[kl]			38.2	0.000	0.000	1.8726	0.00	0.00
A重油[kl]			39.1	0.000	0.000	1.8898	0.00	0.00
B重油[kl]			40.4	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
C重油[kl]			41.7	0.000	0.000	1.9541	0.00	0.00
潤滑油[kl]			40.2	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
その他石油製品[t]			42.3	0.000	0.000	2.0767	0.00	0.00
製油所ガス[10 ³ Nm ³]			44.9	0.000	0.000	1.4152	0.00	0.00
オイルコークス[t]			35.6	0.000	0.000	2.5351	0.00	0.00
LPG[t]			50.2	0.000	0.000	1.6323	0.00	0.00
天然ガス[10 ³ Nm ³]			40.9	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
LNG[t]			54.5	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
都市ガス[10 ³ Nm ³]			41.1	0.000	0.000	1.3951	0.00	0.00
他の燃料種								
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
合計				0.00	0.00		0.00	0.00
エネルギー使用量[原油換算万kl](発熱量×2.58)				0.00	0.00			

貴団体名()

2005年度見通し(対策を実施した場合)[i]

燃料	使用量		平均発熱量 [GJ/単位] (改訂後)	発熱量[PJ] (量×平均発熱量×10 ⁻⁶)		炭素排出係数 [万t-C/PJ]	CO ₂ 排出量[万t-CO ₂](発熱量 ×炭素排出係数×3.67)	
		2005年度 見通し (対策を実施 した場合)			2005年度 見通し (対策を実施 した場合)			2005年度 見通し (対策を実施 した場合)
輸入原料炭[t]			28.9		0.000	2.3650		0.00
国産一般炭[t]			22.5		0.000	2.4897		0.00
輸入一般炭[t]			26.6		0.000	2.4711		0.00
輸入無煙炭[t]			27.2		0.000	2.4711		0.00
コークス[t]			30.1		0.000	2.9383		0.00
原油[kl]			38.2		0.000	1.8660		0.00
ガソリン[kl]			34.6		0.000	1.8294		0.00
ナフサ[kl]			34.1		0.000	1.8167		0.00
ジェット燃料[kl]			36.7		0.000	1.8311		0.00
灯油[kl]			36.7		0.000	1.8509		0.00
軽油[kl]			38.2		0.000	1.8726		0.00
A重油[kl]			39.1		0.000	1.8898		0.00
B重油[kl]			40.4		0.000	1.9223		0.00
C重油[kl]			41.7		0.000	1.9541		0.00
潤滑油[kl]			40.2		0.000	1.9223		0.00
その他石油製品[t]			42.3		0.000	2.0767		0.00
製油所ガス[10 ³ Nm ³]			44.9		0.000	1.4152		0.00
オイルコークス[t]			35.6		0.000	2.5351		0.00
LPG[t]			50.2		0.000	1.6323		0.00
天然ガス[10 ³ Nm ³]			40.9		0.000	1.3471		0.00
LNG[t]			54.5		0.000	1.3471		0.00
都市ガス[10 ³ Nm ³]			41.1		0.000	1.3951		0.00
他の燃料種								
[]					0.000			0.00
[]					0.000			0.00
[]					0.000			0.00
[]					0.000			0.00
[]					0.000			0.00
合計					0.00			0.00
エネルギー使用量[原油換算万kl](発熱量×2.58)					0.00			

貴団体名()

2010年度 目標 見通し(対策を実施した場合)[i]、2010年度見通し(対策を実施しない場合(BAU))[ii]

燃料	使用量		平均発熱量 [GJ/単位] (改訂後)	発熱量[PJ] (量×平均発熱量×10 ⁻⁶)		炭素排出係数 [万t-C/PJ]	CO ₂ 排出量[万t-CO ₂](発熱量 ×炭素排出係数×3.67)	
	目標/見通し いずれかを チェック(p7)	2010年度 見通し (対策を実施 しない場合 (BAU))		目標/見通し いずれかを チェック(p7)	2010年度 見通し (対策を実施 しない場合 (BAU))		目標/見通し いずれかを チェック(p7)	2010年度 見通し (対策を実施 しない場合 (BAU))
輸入原料炭[t]			28.9	0.000	0.000	2.3650	0.00	0.00
国産一般炭[t]			22.5	0.000	0.000	2.4897	0.00	0.00
輸入一般炭[t]			26.6	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
輸入無煙炭[t]			27.2	0.000	0.000	2.4711	0.00	0.00
コークス[t]			30.1	0.000	0.000	2.9383	0.00	0.00
原油[kl]			38.2	0.000	0.000	1.8660	0.00	0.00
ガソリン[kl]			34.6	0.000	0.000	1.8294	0.00	0.00
ナフサ[kl]			34.1	0.000	0.000	1.8167	0.00	0.00
ジェット燃料[kl]			36.7	0.000	0.000	1.8311	0.00	0.00
灯油[kl]			36.7	0.000	0.000	1.8509	0.00	0.00
軽油[kl]			38.2	0.000	0.000	1.8726	0.00	0.00
A重油[kl]			39.1	0.000	0.000	1.8898	0.00	0.00
B重油[kl]			40.4	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
C重油[kl]			41.7	0.000	0.000	1.9541	0.00	0.00
潤滑油[kl]			40.2	0.000	0.000	1.9223	0.00	0.00
その他石油製品[t]			42.3	0.000	0.000	2.0767	0.00	0.00
製油所ガス[10 ³ Nm ³]			44.9	0.000	0.000	1.4152	0.00	0.00
オイルコークス[t]			35.6	0.000	0.000	2.5351	0.00	0.00
LPG[t]			50.2	0.000	0.000	1.6323	0.00	0.00
天然ガス[10 ³ Nm ³]			40.9	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
LNG[t]			54.5	0.000	0.000	1.3471	0.00	0.00
都市ガス[10 ³ Nm ³]			41.1	0.000	0.000	1.3951	0.00	0.00
他の燃料種								
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
[]				0.000	0.000		0.00	0.00
合計				0.00	0.00		0.00	0.00
エネルギー使用量[原油換算万kl](発熱量×2.58)				0.00	0.00			

(2) 集計表

貴団体名()

	1990年度実績	1997年度実績	1998年度実績	1999年度実績	2000年度実績	2001年度実績
CO ₂ 排出量(電力以外)[万t-CO ₂] (燃料種別計算表からの値)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(直接記入) [i]						
エネルギー使用量(電力以外)[原油換算万kl] (燃料種別計算表からの値)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(直接記入) [i]						
購入電力量[万kWh]						
炭素排出係数[t-C/万kWh]	1.02	0.89	0.86	0.91	0.92	0.92
(直接記入) [ii] 説明 []						
CO ₂ 排出量(電力部分のみ)[万t-CO ₂] (購入電力量×炭素排出係数×3.67×10 ⁻⁴)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー換算係数[GJ/万kWh]	94.2	94.2	94.2	94.2	90.0	90.0
(直接記入) [iii] 説明 []						
エネルギー使用量(電力部分のみ)[原油換算万kl] (購入電力量×エネルギー換算係数×2.58×10 ⁻⁶)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO ₂ 排出量(合計)[万t-CO ₂]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
CO ₂ 排出原単位 単位 []						
工業プロセスからのCO ₂ 排出量[万t-CO ₂] (該当業種のみ)						
エネルギー使用量(合計)[原油換算万kl]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー使用原単位 単位 []						

貴団体名()

2005年度 見通し (対策を実施 した場合) [iv]	目標/見通し いずれかを チェック(p7)	2010年度 見通し (対策を実施 しない場合 (BAU))[v]
0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0

0.87	0.82	0.92
0.0	0.0	0.0
90.0	90.0	90.0
0.0	0.0	0.0

0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0

貴団体名()

4. 2010年度見通し/目標の試算の前提

(1) 該当するものをチェックして下さい(複数回答可)。なお、(2)の質問にもご回答願います。

生産高/売上高に係る前提	
<input type="checkbox"/> a) 生産量予測	<input type="checkbox"/> c) 貿易量予測
<input type="checkbox"/> b) GDP見通し	<input type="checkbox"/> d) その他
エネルギー/CO2排出原単位に係る前提	
<input type="checkbox"/> a) 省エネ施設の導入動向	<input type="checkbox"/> c) その他(電力CO2排出原単位に係る前提など)
<input type="checkbox"/> b) 製品ニーズへの対応・製品構成の変化	

(2) 具体的にご記入願います。

記入例：例1：生産高エネルギー原単位が、自主的な省エネ努力により2001年度以降平均1%改善すると仮定。
 例2：生産量が、1996年度水準のまま推移すると仮定。

5. 2001年度CO2排出量増減要因

(1) 該当するものをチェックして下さい。なお、(2)の質問にもご回答願います。

貴業種からのCO2排出量は、1990年度に比べて(いずれかをチェックして下さい)	
<input type="checkbox"/> a) 増加した	<input type="checkbox"/> b) 減少した
CO2排出増減要因として該当するものにチェックして下さい(複数回答可)。	
<input type="checkbox"/> a) 生産量の増加	<input type="checkbox"/> f) 設備稼働率の悪化
<input type="checkbox"/> b) 生産量の減少	<input type="checkbox"/> g) 燃料転換
<input type="checkbox"/> c) エネルギー効率の向上	<input type="checkbox"/> h) 自家発電の増設
<input type="checkbox"/> d) エネルギー効率の悪化	<input type="checkbox"/> i) 気候の影響
<input type="checkbox"/> e) 設備稼働率の向上	<input type="checkbox"/> j) その他(電力原単位の改善など)

(2) 具体的にご記入願います。

記入例：例1：目標値であるエネルギー原単位は低下しているが、軽質化の進行、環境品質対策等の原因により生産数量および二次装置でのエネルギー消費量が増えているため、CO2排出量は増加している。
 例2：99年度は景気回復により増産となり、エネルギー・CO2排出原単位は向上したがエネルギー使用量、CO2排出量は増加した。

貴団体名()

(3) 売上高、生産高、生産量等実績

CO₂排出量増減の要因分析のために、貴業界（本フォローアップ参加企業）の生産活動を表す指標が必要です。この指標として、売上高、生産高、生産量等の実績値をご記入下さい。売上高、生産高については、可能であれば物価上昇を考慮した補正值としてください。

1990年度実績	1997年度実績	1998年度実績	1999年度実績	2000年度実績	2001年度実績		

単位の説明	
データ出典	

貴団体名()

6. 民生・運輸部門への貢献（製品・サービス効果等）

（1）主たる事業以外のオフィス利用、自家物流などからのCO₂排出削減への貴業界の取組みを具体的にご記入ください（できる限り総量を数値データで示してください）。

記入例：2001年度のオフィス利用に伴うCO₂排出量は約40万t-CO₂、自家物流輸送に伴うCO₂排出量は約8万t-CO₂である。オフィス利用に伴うCO₂排出抑制のため、空調の効率運転、昼休みの消灯徹底、エレベーター使用の削減等に取り組んでいる。また自家物流輸送に伴うCO₂排出抑制のため、社有車について低燃費運転励行、低燃費車の導入・優先利用、適性空気圧による運転等に取り組んでいる。

（2）製品・サービス効果等により民生・運輸部門からのCO₂排出削減に貢献している貴業界の取組みを具体的にご記入下さい（総量を数値データでお願いします）。

記入例：例1：低燃費タイヤ用合成ゴム・カップリング剤・カーボンブラックを供給しており、これにより燃費が5～6%改善され、CO₂換算で約200万t/年削減している。例2：自動車用高張力鋼板や変圧器用の電磁鋼板、極薄のスチール缶等金属的特性を活かした高機能化製品の開発を積極的に進めてきているが、これらの製品は使用段階において省エネに大きく貢献している。

7. CO₂以外の温室効果ガスについての削減目標、実績、対策等

CO₂以外の温室効果ガスについて対策を講じている場合には、数値データ等を含めて具体的にご記入下さい。

記入例：CO₂以外の温室効果ガスについては、次に示すような回収・再利用等の対策を実施することにより、排出を極力抑制するよう努めるとしている（対象となっている5つのガスの電気事業からの合計排出量は、電気事業からのCO₂排出量の1/200程度）。

- ・SF₆：回収・再利用システムの確立等による機器点検時の排出抑制および機器廃棄時の排出抑制。
（機器点検時の排出割合を2005年には3%程度まで抑制、機器廃棄時の排出割合を2005年には1%程度まで抑制）
- ・HFC：機器の設置・修理時の漏洩防止・回収・再利用に協力することによる排出抑制。

8. 2001年度に実施した温暖化対策の事例、推定投資額、効果等

記入例：2001年度に実施した省エネルギー対策の事例は、494件の報告があり、その投資額は673億円に達している。また、それによるエネルギー削減効果は、原油換算329千klとなっている。

対策	投資費用(千円)	削減効果(原油換算kl)
イオン交換膜への転換	10,000,000	32,000
ガスタービンと分解炉のインテグレート	3,800,000	14,000
運転の最適化	7,000,000	16,000

9. 京都メカニズムを念頭に置いたプロジェクトの実施状況

記入例：例1：インドネシアにおける太陽光発電装置、小水力発電所の設置などのAIJ(共同実施活動)の実施、オーストラリアにおける植林事業の実施、世界銀行炭素基金や欧州復興開発銀行炭素基金への参加を行なっている。例2：タイ王国バンコク郊外の特定交差点の交通渋滞緩和プロジェクトを実施した。このプロジェクトにより推定約1,700 t-C/年のCO₂が削減される。

10. 環境マネジメント、海外事業活動における環境保全等の実施状況

11. その他の注記事項



